

### $A_n, D_n$ 型 quiver の表現の退化

北大理 丹原大介 (Daisuke Tambara)

体  $K$  上の有限次元 algebra  $\Lambda$  について  $\Lambda$  加群の退化を考える。

定義 1  $\Omega$  を  $K$  上のベクトル空間とすると  $\Omega$  上の  $\Lambda$  加群構造の全体は  $\text{Hom}_K(\Lambda \otimes_K \Omega, \Omega)$  の Zariski 閉集合をなす。これを  $X$  とおく。 $\Lambda$  加群  $U$  に対して  $\Omega$  に  $U$  と同型な  $\Lambda$  加群構造を与える  $X$  の点の全体を  $O_U$  とかく。2つの  $\Lambda$  加群  $U, V$  に対して,  $\dim U = \dim V = \dim \Omega$  かつ  $O_U$  の  $X$  における閉包が  $O_V$  を含むとき,  $U$  は  $V$  に退化するといひ  $U \rightsquigarrow V$  とかくことにする。

$\rightsquigarrow$  は  $\Lambda$  加群の同型類の集合の上に順序を定める。

定義 2 2つの  $\Lambda$  加群  $U, V$  について次が成立つとき,  
 $U \leq V$  とかく。 $U$  と  $V$  の組成列因子が同じで, 任意の  $\Lambda$  加群  $M$  について  $\dim \text{Hom}_\Lambda(M, U) \leq \dim \text{Hom}_\Lambda(M, V)$ 。

$\leq$  もまた  $\Lambda$  加群の同型類の集合の上に順序を定めることが知られる。 $X$  上の関数  $\dim \text{Hom}_\Lambda(M, -)$  の上半連続性から  $U \rightsquigarrow V$  ならば  $U \leq V$

逆が同題であるが、次の  $\Lambda$  について  $U \rightsquigarrow V \Leftrightarrow U \leq V$  が成立つ。

イ)  $KETJ / (T^n)$  (古典的)

ロ)  $A_n$  型 quiver の path algebra ([1], [3])

ハ)  $D_n$  型 quiver の path algebra (equi-oriented case は [2], 一般のとき [3])

ニ) ロやハの  $\Lambda$  の剰余環 ([3])

ホ)  $\Lambda$  が有限表現型でその Auslander-Reiten quiver は単連結で各頂点について出る矢、入る矢は 2 本以下 ([3])

ヘ) quiver  $\tilde{A}_1 : \bullet \rightrightarrows \bullet$  の path algebra

すべての表現の間の順序  $\rightsquigarrow$  が分っているような  $\Lambda$  は筆者の知る限り上記のものしかない。

イ) の場合は  $\rightsquigarrow$  も  $\leq$  も partition の間の自然な順序と一致する。ロ) の場合、Abeyasis と Del Fra の証明は (equi-oriented でないときに) きわめて長いが、上のように  $\dim \text{Hom}_\Lambda(\cdot, \cdot)$  による定式化をして AR quiver を見ながら考えれば簡明な証明がえられる。ハ) の場合もそのやり方をすすめてなんとかできる。E<sub>6</sub> になる  $\Lambda$  の AR quiver の上の図形が重なり合って視覚にたよれなくなる。ニ) はロ、ハから明らか。ホ) はロの証明がそのまま通用する場合。ヘ) は無限表現型だが成立っている。regular module のところでイ) が要る。  $\tilde{A}_n$   $n > 1$  に進むた

めには 2 個以上の simple をもつ uniserial の場合が分るなければい  
けない。

$U \leq V \Rightarrow U \rightsquigarrow V$  が成立たない  $\Lambda$  の例が Carlson により与  
えられている。 ([3])  $\Lambda = K[x, y]/(x^2, y^2)$

### References

- [1] S. Abeasis and A. Del Fra, Degenerations for the representations  
of a quiver of type  $A_m$  (J. Alg., Vol 93, 1985, pp 376-412)
- [2] S. Abeasis and A. Del Fra, Degenerations for the representations  
of an equioriented quiver of type  $D_m$  (Adv. Math., Vol 52,  
1984, pp 81-172)
- [3] Ch. Riedtmann, Degenerations for representations of quivers  
with relations (Ann. scient. Éc. Norm. Sup., 4<sup>e</sup> série, t. 19,  
1986, pp 275-301)